

ごあいさつ



令和5年度東海北陸地区私立幼稚園教育研究大会は、長野県が担当させていただき、本年7月27日・28日の2日間、長野市で開催いたします。

この大会のテーマは、前年度の愛知大会と同じく「新しい時代を伸びやかに生きる～社会に開かれた質の高い幼児教育を～」といたしました。

国が目指す未来社会 Society 5.0。この新たな時代を担う人材の育成は、乳幼児期に質の高い幼児教育・保育（子ども主体の）が実践されたかどうかに、大きく関係しているということが、多くの研究で明らかにされています。このことから私たち幼児教育・保育を担う立場として、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことが社会から大いに期待されています。

また、SDGsの目標の一つに「質の高い教育をみんなに」が掲げられていますが、世界に目を向けると、貧困や紛争などで教育を受けたくても受けられない子どもたちがいます。一方、私たちの国では、幼児教育・保育の無償化など、その環境は整いつつありますが、いじめ・虐待・放任など「子どもの権利」に関わる事象が数多く起きています。子どもに関わる仕事をしている私たちは、子どもの権利を守るために、子どもの気持ちを代弁する形で子どもに対する偏見を克服していかねばならない責務を背負っている存在だと考えています。

新型コロナウイルス感染症は、子どもたちの生活面でも大きな影響をもたらしました。家庭の状況が様々な中で、幼稚園・認定こども園・保育園では子どもの基本的権利「愛される権利」についても、改めてこの大会テーマの「新しい時代を伸びやかに生きる」に合わせて皆様とともに学びを深めてまいりたいと思います。

この大会が、皆様にとりまして実り多い研修の場となるよう、新たな研修の在り方も模索しながら準備を進めております。大会開催の7月にはコロナの収束が見え、長野県の豊かな自然の中で大会が迎えられることを期待しながら、大勢の先生方のご来県を心よりお待ち申し上げます。

令和5年度
東海北陸地区私立幼稚園教育研究長野大会
実行委員長 大森 けい子